

で自然体験

児童生徒県外研修



釧路湿原でカヌーにチャレンジ!

町教育委員会主催による児童・生徒県外研修が、7月25日から27日までの3日間の日程で行われました。この研修は、将来町の担い手となる子どもたちに、様々な土地の自然や文化、生活などを学んでもらおうと平成4年度から毎年行っているものです。5回目となった今回は、昨年と同じく豊かな大自然に恵まれた北海道の厚岸町で実施され、参加した28名の小中学生は、自然散策やカヌー、野外炊飯などを体験してきました。



大経小6年
櫻井崇博

楽しかった県外研修

見て恐かったのか、森の中に
行けて行った。

一番の思い出は、初めての
カヌー挑戦だ。三人でバランスを
取って、川を下って行った。と
にかく楽しくて、時間のたつ
のも忘れてしまった。

本当の事を言うと、北海道に
行く前、僕はあまりおなかの調
子がよくなかった。一緒に行っ
てくれた青少年相談員の藤井さ
んが、お母さんよりもやさしく
声をかけてくれた。おかげでお
なかの調子も全快。「鮭のチャ
ンチャン焼き」「カキ」「毛ガ
ニ」「ジンギスカン」おいしく
て、おなかいっぱい食べてとて
も満足。

県外研修で得たものは多く、
友達がたくさんでき、地図だけ
ではなく、実際に北海道に行っ
てその広さにびっくりした事な
ど、数えきれないほどだ。

おみやげは、留守番をしてい
る家族に、楽しかった北海道の
お話しをする事に決めた。

北海道の地図を広げ、釧路平
野にある厚岸町、行く前から何
度も地図で見ていた。
地図では、25cmの距離なのに、
実際は釧路空港からバスで2時
間もかかってついた厚岸少年自
然の家。緑の木に囲まれて、と
ても広い所だ。雨が降って寒か
ったので、同じ日本なのに千葉
と北海道との気温差も感じた。
何といっても楽しかったのは
自然の家での夜、体育館でバス
ケットやドッチボール、バドミ
ントンもした。いつの間にかみ
んな友達になり、心がウキウキ
して、消灯時間が過ぎててもな
かなか眠れなかった。

二日目に、自然の家の周りを
散策。ちよつとやせた北キツネ
に出会った。鼻が高く、犬と良
く似ていた。僕達の顔をしばら

